

「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」 2025年度 公開フォーラム

～もっと豊かな食を。もっと豊かな未来のために。～

日時

2026年

3月11日 水

13:00 - 17:00 フォーラム
12:30 - 17:45 ポスター会場

参加費
無料

SIP3「豊かな食」プロジェクトでは、食料安全保障を支える「持続的に”豊かな食”が提供される国産資源を活用したフードチェーン」の再構築を目指した研究開発を進めています。本フォーラムでは、課題担当者がプロジェクトの進捗・成果及び社会実装への展望を講演し、「豊かな食」の実現に向けて有識者が議論するパネルディスカッションも実施します。また、同時間帯には別室でポスター展示を実施し、研究担当者がポスターやデモを用いた技術紹介を行うとともに、来場者との連携やビジネスに向けた意見交換の場を設けます。

場所

【会場】
鉄鋼カンファレンスルーム Room3-6
東京都千代田区丸の内1丁目8番2号
鉄鋼ビルディング 南館4階

【オンライン配信】
Zoomウェビナー



定員

会場参加 120名
オンライン配信 300名
※先着順

お申込

QRコード
またはWebページより
お申し込みください



<https://sip3rd-0311.peatix.com>
申込期限 3月6日(金)



もっと豊かな食を。
もっと豊かな未来のために。

【共催】

内閣府、農林水産省、生物系特定産業技術研究支援センター SIP3「豊かな食」事務局

【お問合せ】 生物系特定産業技術研究支援センター SIP3「豊かな食」事務局

✉ sh-SIP3rd-jimu@naro.go.jp



「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」 2025年度 公開フォーラム

プログラム

12:30-	受付・開場
13:00-13:10	開会 来賓挨拶 南部智一 内閣府政策参与・プログラム統括
13:10-13:25	主催挨拶 松本英三 プログラムディレクター／株式会社J－オイルミルズ顧問
13:25-13:45	基調講演 食料安全保障の確保に向けた今後の取組について 東野昭浩 農林水産省農林水産技術会議事務局 研究総務官
13:45-15:45	成果報告と社会実装に向けた取組 【生産性+自給率向上に向けた大豆の品種改良と栽培技術】 <ul style="list-style-type: none">・画期的な大豆品種の開発を実現する育種プラットフォーム 石本政男 農研機構作物研究部門 所長・大豆品種のポテンシャルを最大限に引き出すための「多収栽培支援AI」 酒井英光 農研機構中日本農業研究センター 研究領域長 【下水汚泥など未利用資源を肥料に活用】 <ul style="list-style-type: none">・AIを活用した高機能堆肥化装置の開発 小島陽一郎 農研機構畜産研究部門 上級研究員・プルシアンブルー型錯体を活用した肥料成分の回収 南公隆 産業技術総合研究所材料基盤研究部門 主任研究員 【沖合を活用したブリの次世代養殖】 <ul style="list-style-type: none">・自動で、観察し、考え、給餌する大規模養殖・リモート量産化システム 齊藤肇 水研機構水産技術研究所 水産工学部 副部長・ブリ優良種苗の供給拡大に向けて 菅谷琢磨 水研機構水産技術研究所 グループ長 <ul style="list-style-type: none">・国産食材をより多く食べるための「豊かな食解析システム」 山本（前田）万里 農研機構食品研究部門 エグゼクティブリサーチャー 15:45-16:05 休憩
16:05-16:55	パネルディスカッション「豊かな食」を実現するために (登壇者は調整中につき、最新情報からご確認ください)
16:55-17:00	閉会挨拶 森下興 生物系特定産業技術研究支援センター 所長
	17:00-17:45 ポスター会場にて意見交換

※当日の進行により、プログラム内容・発表順・時間が変更となる場合があります。



プログラムの最新情報、ポスター・デモの一覧はこちらから
<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/sip/sip3/news/2025/173883.html>

